

船堀小学校応援団実践報告書

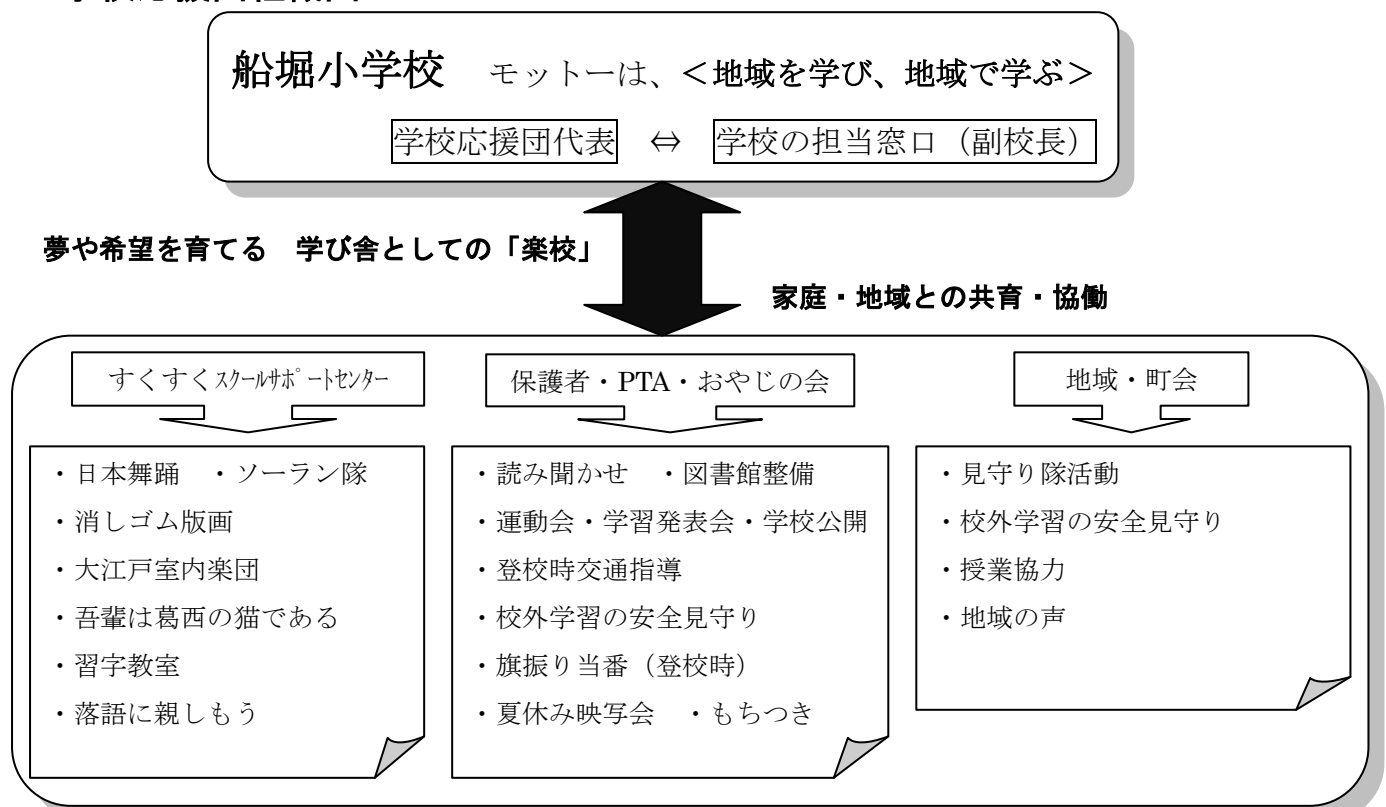
1 校長及び代表氏名

船堀小学校長 田中 浩二
 代表 鈴木 幸枝 竹田 雅子

2 今年度の活動内容

応援団の種類	応援団の名称	活動内容
安全・安心	旗振り 朝の交通見守り 校外学習の引率 (校外体育を含む)	○登校時の横断歩道での安全を見守る。 ○通学路で登校の安全を見守る。 ○校外学習をするときの安全支援
学習活動	調理実習 ミシン学習支援 書道学習支援 琴の学習支援 そろばん指導 スポーツ活動支援	○安全を見守り実習の支援をする。 ○安全を見守り技術指導の支援をする。 ○書道の学習の指導 ○琴演奏の指導 ○算数学習のそろばんの支援 ○プロスポーツ選手による運動の指導
読書活動	読み聞かせ 図書室整備 本の貸し出し	○朝、学級に入って本の読み聞かせをする。 ○本の整頓や本の修理を行う。 ○葛西図書館で本を選ぶ。

3 学校応援団組織図



4 今年度の成果と今後の課題

<成果>

- ・特色ある教育活動で「地域を学び、地域で学ぶ」をテーマとして取り組み、地域の人材を活かして、琴・書写などを学ぶことができた。
- ・図書室の本の整備を毎週1回行っていただき、図書室がきれいに整頓された。また、研修会に参加することで、本の修理を行うことができた。
- ・読み聞かせの際、ビッグブックを活用するなどボランティアの方が事前に準備をし、工夫を凝らして教室で本を読んでもらっている。
- ・毎日の登下校の見守りと、校外学習の引率での安全支援をお願いし、安心安全な教育活動ができた。今年度は学校改築のため他校を借りて運動会を実施したが、行き帰りの移動に際して多くの保護者の方に見守っていただき、安心して移動することができた。
- ・スポーツプロジェクトとして、年間を通して、全学年がプロのスポーツ選手に指導していただき、いろいろな運動に親しむことができた。

<課題>

- ・活動の活性化を図るため、活動の様子や団員募集の情報等をホームページや学校だよりを活用して積極的に知らせていく。
- ・学校応援団代表が窓口になり対応できるような組織作りをしていく。
- ・学校応援団と教職員との連携を深めていく。

5 代表より

子ども達が伝統文化・スポーツなどいろいろな活動にふれ合える機会を大切に思い、学校応援団代表として様々な取り組みを行いました。

その中で、5年生は琴に挑戦しました。昨年の5年生もそうだったのですが、皆、初めての体験とあって分からないながらも、真剣に演奏していました。終了後は、貴重な体験をすることができて大喜びでした。

今後とも、学校・PTA・地域の方々と協力して、子ども達が伝統文化やスポーツ、歴史を学ぶ体験を進めていきたいと考えております。

6 学校長より

江戸川区教育委員会は、目指す子ども像として『ふるさと「えどがわ」を知り、愛し、活躍できる子ども』を掲げている。これを受け、本校では「学校は地域の宝、教育は家庭の夢」を学校経営方針に掲げ、「地域を学び、地域で学ぶ子」の育成を特色ある教育の柱として、教育課程を編成している。そのため、テキスト（教科書）フリー、マン（教師）フリー、スペース（教室）フリーといった教育のバリアフリーを推進することが不可欠であり、しかも、地域の自然や施設、文化といったものを地域教材、或いは学習の場とするには、それらを知り尽くしている学校応援団（地域人材）の活用が何より効果的であると考えている。

こうした考えの下、本校学校応援団の皆様方のご支援は、子どもたちの生き生きとした学びの姿に反映されているばかりか、より大きな学習成果をもたらしていることに心から感謝するものである。